

CDP情報開示ウェビナー (初回答企業向け)

2026年 CDP情報開示ウェビナーシリーズ第1回

2026年6月3日

ご注意:

- ご質問はQ&Aボックスからご投稿ください。回答開始は質疑応答の時間帯となります。
- ウェビナー終了後は、アンケートへのご回答にご協力をお願いします。
(情報提供・支援体制向上のため)
- 本ウェビナーのCDPによるスライドおよび録画は、すべての登録者にお送りいたします。但し、ゲストスピーカーについては許可が下りたもののみとなります。
- 本ウェビナー録画・資料の無断掲載は禁止しております。

プログラム



14:00-14:30 | オープニングセッション

なぜCDPに開示するのか

角田 恵里(CDP Worldwide-Japan ディスクロージャーエンゲージメント シニアアカウントマネージャー/司会)

14:30-15:00 | ゲストスピーカー

環境省による脱炭素経営の推進と環境情報開示の重要性

小野 裕永 氏(環境省 地球環境局地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室 室長)

地域金融機関が伴走する、中小企業の脱炭素経営と環境情報開示のリアル

木村 剛 氏(十六フィナンシャルグループ グループ戦略部 マネージャー)

15:00-15:15 | 質疑応答

なぜCDPに開示するのか

CDP Worldwide-Japan

ディスクロージャーエンゲージメント シニアアカウントマネージャー
角田恵里

2026年6月3日

A large red triangle is located in the bottom-left corner of the slide.

内容

CDPの概要

CDPキャピタルマーケットツ要請とは？

CDPを通じて開示する理由

CDPデータの活用方法

2026年CDP開示サイクル

参考資料



CDPについて

CDPは、企業、都市、州、地域を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体です。



540以上

資産総額110兆米ドルを超える世界の金融機関



270以上の

購買組織(世界の時価総額の約5分の1に相当)



22,100社以上

世界の時価総額の60%以上を占める開示企業



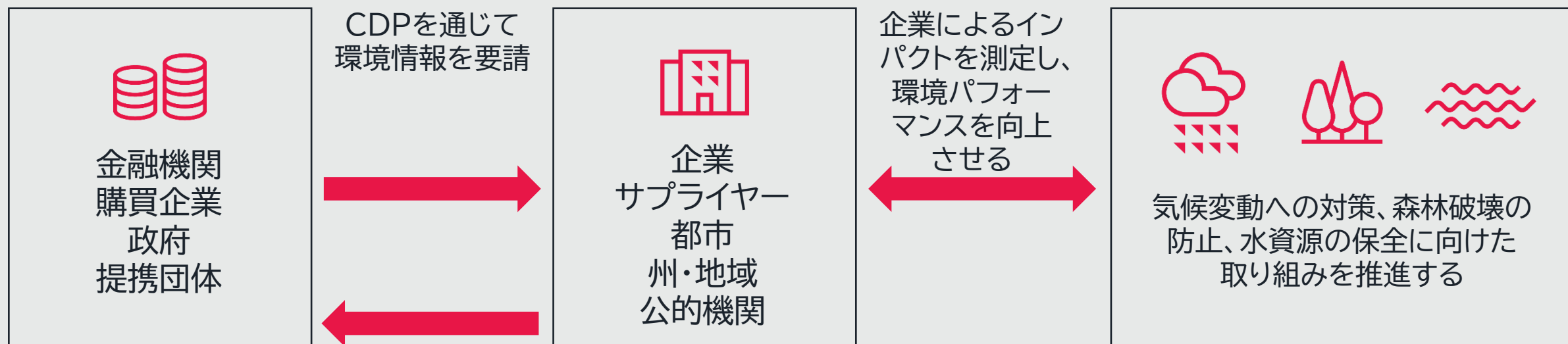
1,000以上

情報開示を行っている都市、州、地域



CDP開示の仕組み

投資家や調達企業は、CDPを活用して情報に基づいた意思決定を行い、優れた実績を持つ企業を評価し、行動を促しています。



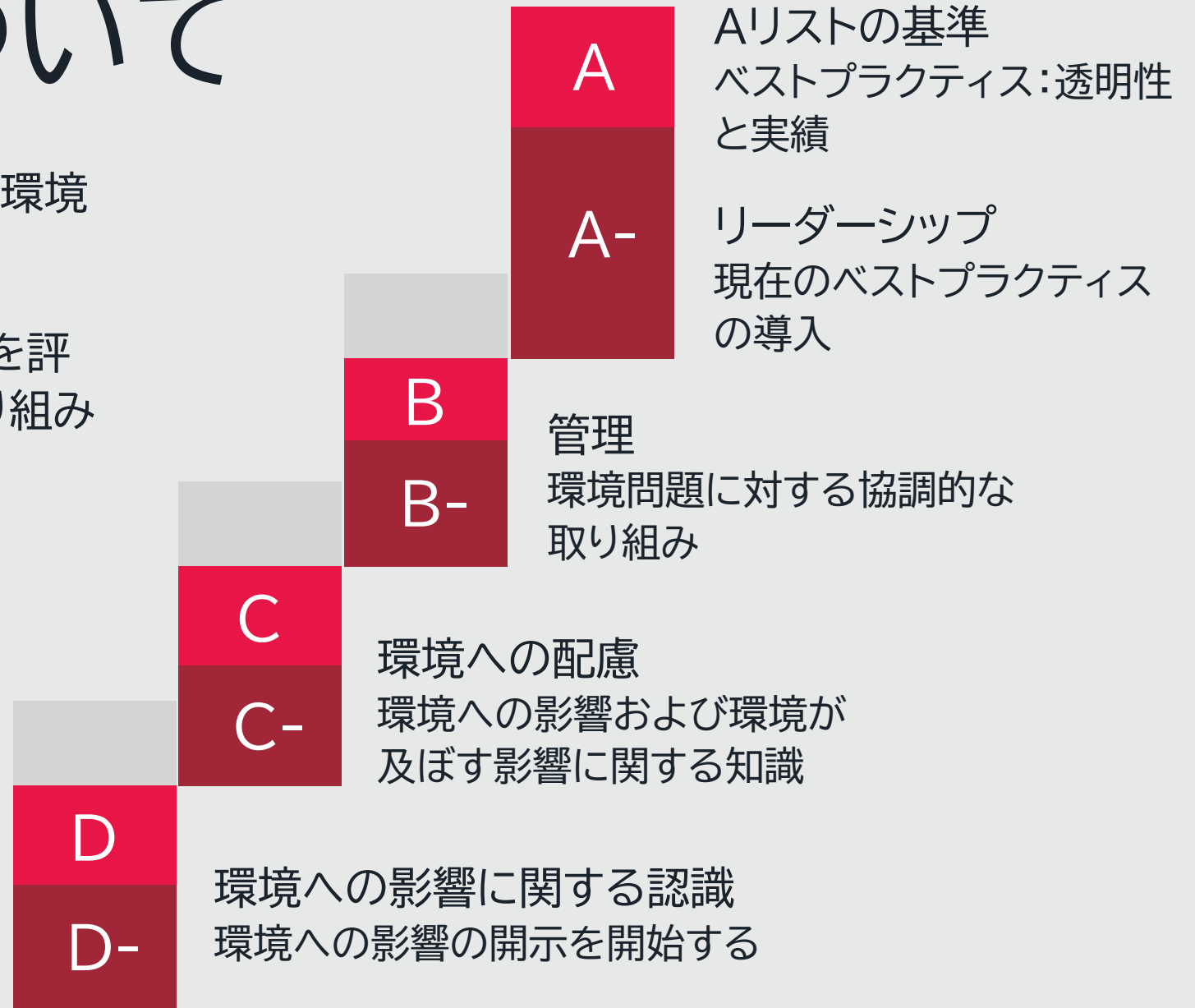
環境への影響、リスク、機会、投資、戦略などに関するデータを提供。
CDPのデータを活用して、情報に基づいた意思決定を実施。



CDPスコアについて

CDPスコアは、企業の情報開示状況および環境パフォーマンスの概況を示すものです。

スコアは、報告年内に企業が環境への影響を評価・管理するために実施したと報告した取り組みのレベルを示しています。

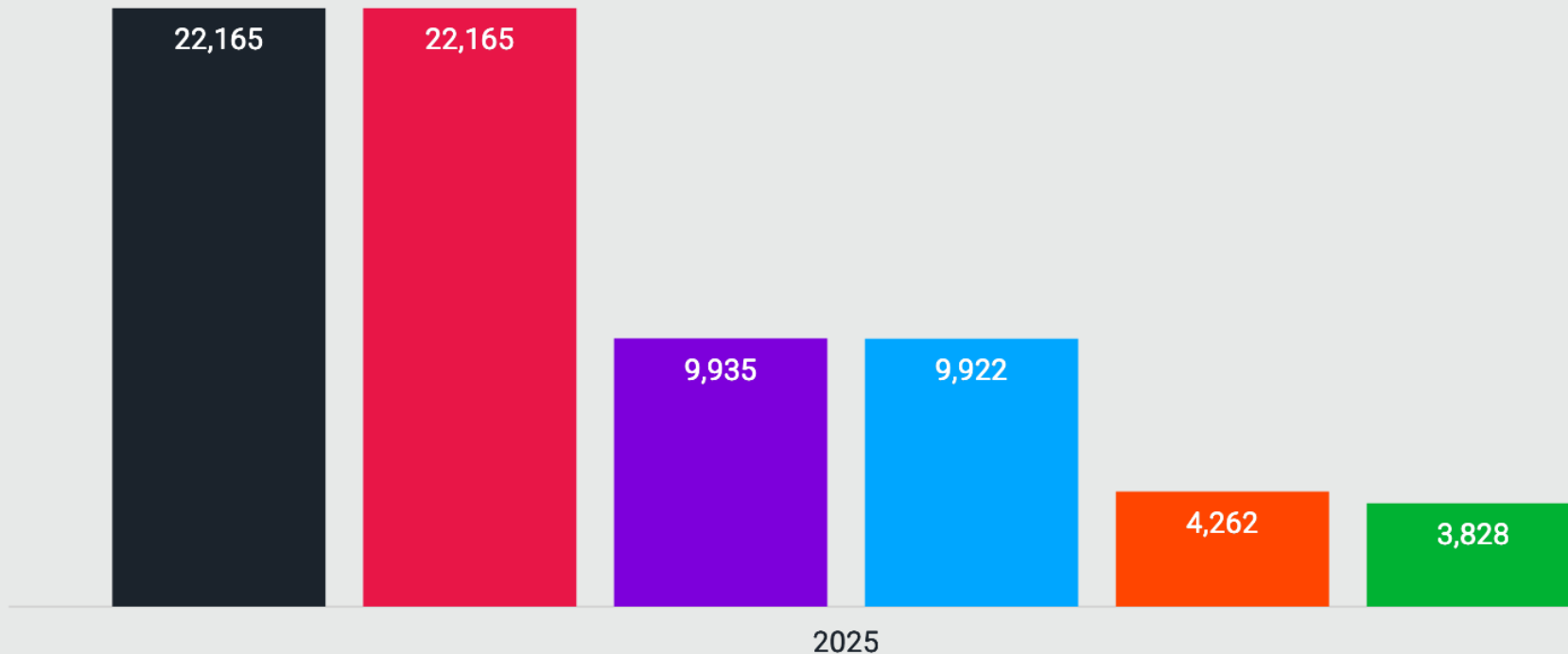


2025年 CDPを通じた開示数



Number of corporate disclosures by environmental theme in 2025

■ Total disclosing companies ■ Climate change ■ Biodiversity ■ Water security ■ Plastics ■ Forests



22,100+

世界の時価総額の60%以上を占める企業がCDPを通じて情報開示

4,400+

2025年に初めて回答した組織

3,500+

全環境課題について開示した組織

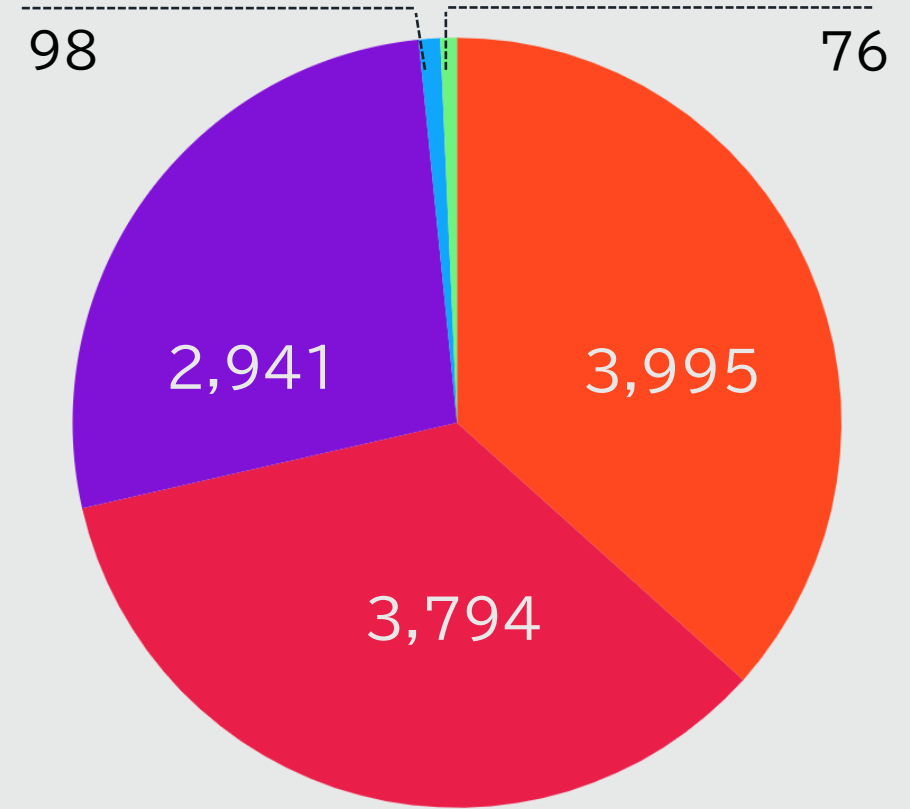




CDPの中小企業向け質問書は、
中小企業が質の高い環境データを
開示できるよう支援します。

2025年には、中小企業向け質問書
(SME質問書)を通じて**10,900社以上**
が開示を行いました

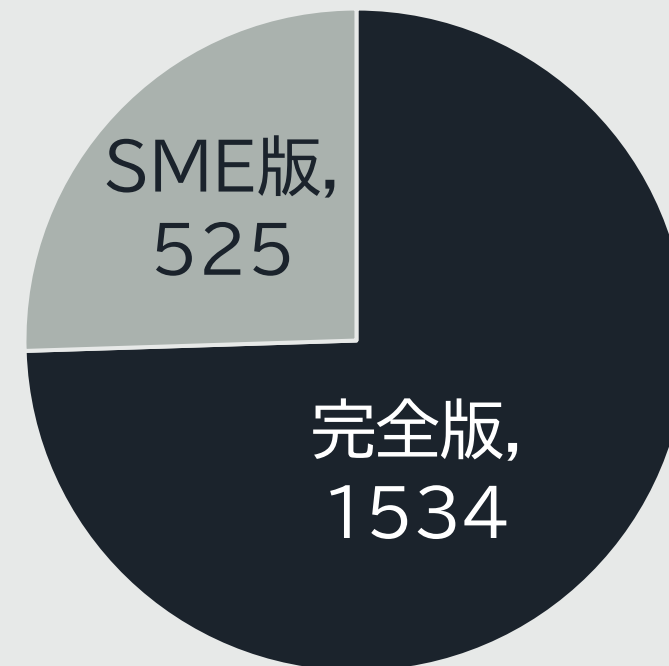
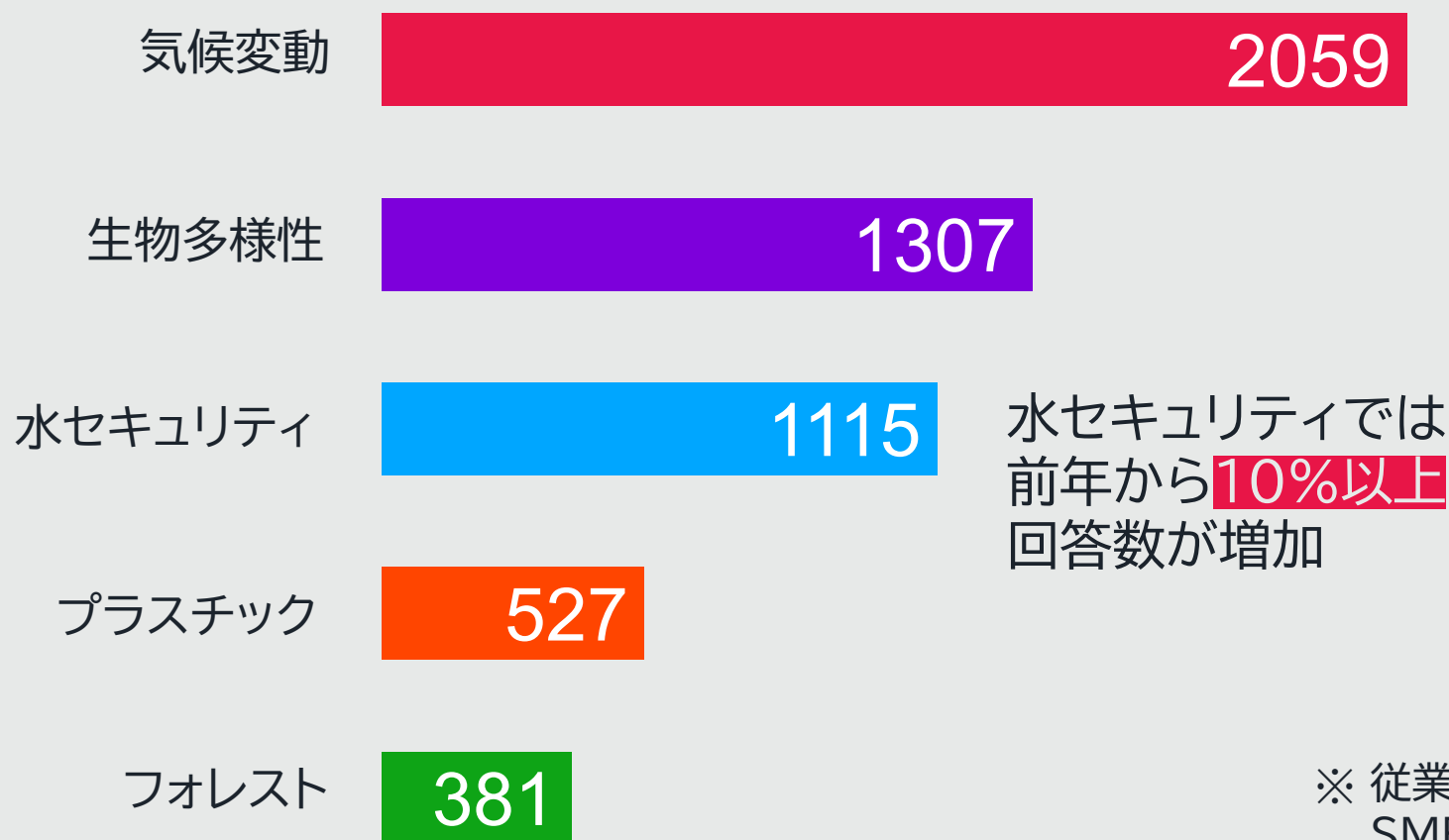
中小企業向け質問書回答者の65%が
2025年の開示体験は2024年よりも
良かったと回答しました



2025年の地域別中小企業向け質問書回答状況

Europe Asia Americas Oceania Africa

2025年 日本企業の回答状況



※ 従業員数及び売上額において、一定の規模を下回る場合、SME(中小企業)版の選択が可能
SME版質問書の詳細 ([リンク](#))

※数字は回答提出企業数。親会社が回答に含めた子会社分はカウントしていません。

25年にわたり市場を牽引



25社の投資家からの要請を受け、245社が情報開示を行う



気候変動を超えた市場への働きかけ: CDPが**水セキュリティ**を取り上げ、続いて**フォレスト**に取り組む

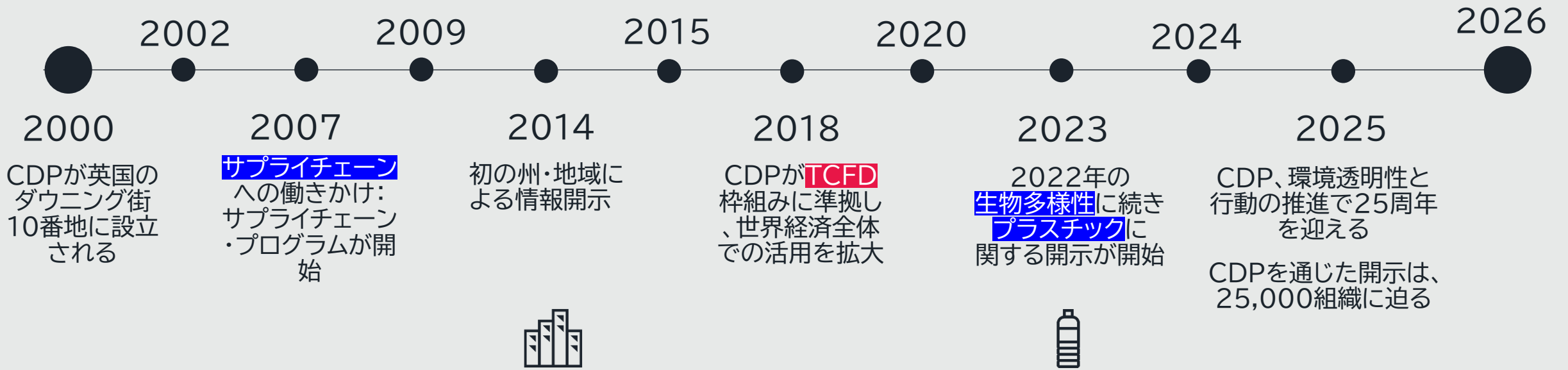


CDPが**SBTi**を共同設立し、気候目標のあり方を変革

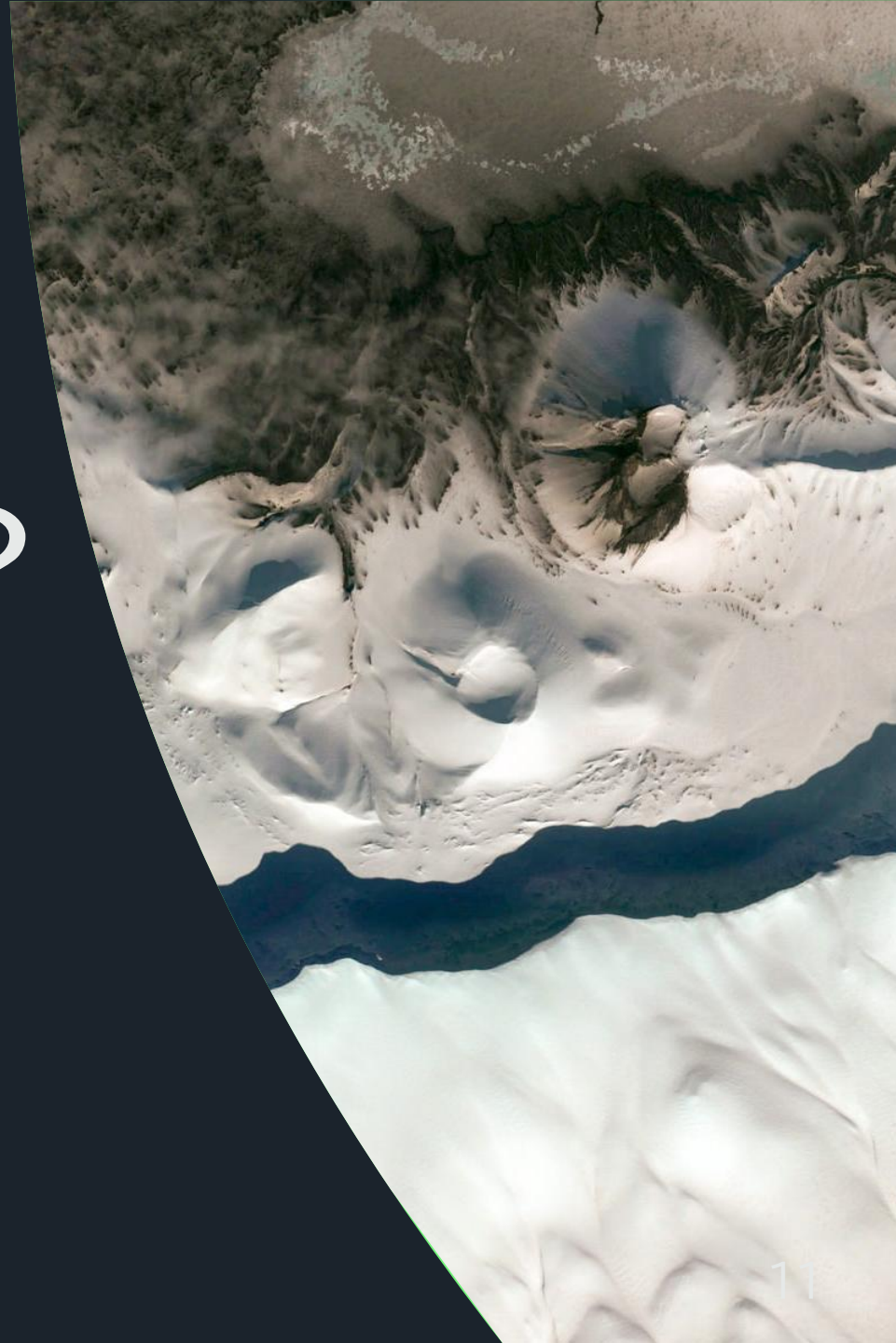
CDPを通じた開示件数が1万件を突破、初の義務的開示が導入



質問書に最新の環境課題「**海洋**」を追加



CDPキャピタル・ マーケットツ要請とは？



CDPキャピタル・マーケットツ(CM)要請の概要

要請の背景、企業の選定方法、および取締役会宛て書簡が送付される理由



※代表的な選定基準:

- ・公開市場での投資適格性、売上高と市場での存在感、環境への影響、グローバルインデックス、および過去の開示からの継続性
- ・詳細は次のスライド参照



企業の選定基準および2026年要請リストの構成

売上高および市場での存在感

上場企業:年間売上高2,000万米ドル以上

非上場社債発行体およびその他の非上場企業:年間売上高1億5,000万米ドル以上

環境への影響

主要セクターにおける高排出企業

CDPデータおよび環境実務チームにより特定

インデックスと継続性

主要グローバル・ベンチマーク投資インデックスに含まれる
過去数年にわたり開示実績がある(組織改編後も継続)

自主的な開示

自主的に選定された企業は、キャピタル・マーケット署名機関と自発的に開示情報を共有できる

要請の解釈方法

- 左記の基準のいずれかを満たす場合、要請を受け取る可能性あり
- キャピタル・マーケット要請は原則解除不可
- 例外的な解除:自主回答企業に基づくCM要請企業(→CDPヘルプセンターを通じて解除可能)

2026年要請リストの構成

- 32,000社以上の上場企業(世界の時価総額の99%)
 - 3,000社以上の非上場債券発行体
 - 6,000社以上の非上場企業
 - 1,000社以上の高インパクト企業または自主選定企業
-
- 主要サンプル:上場企業、環境影響企業、継続性のある企業、および自主選定企業
 - 固定利回り(Fixed income) サンプル:非上場企業債券発行体のみ



詳細:

[CDP Capital Markets Request Guidance](#)

[CDP Capital Markets Request - 2026 Sample Methodology](#)

要請のしくみ



なぜ？

- 市場のニーズの高まり
- 環境関連リスク管理の実践に役立つ
- サプライチェーンにおける影響力の大きい企業を特定
- 投資プロセスにサステナビリティを考慮する



誰が？

- 対象：
 - サプライチェーンの構成企業
 - CDPキャピタル・マーケット署名機関
 - 提携団体・連合体
 - プライベート・マーケット
 - 銀行
 - 地方自治体

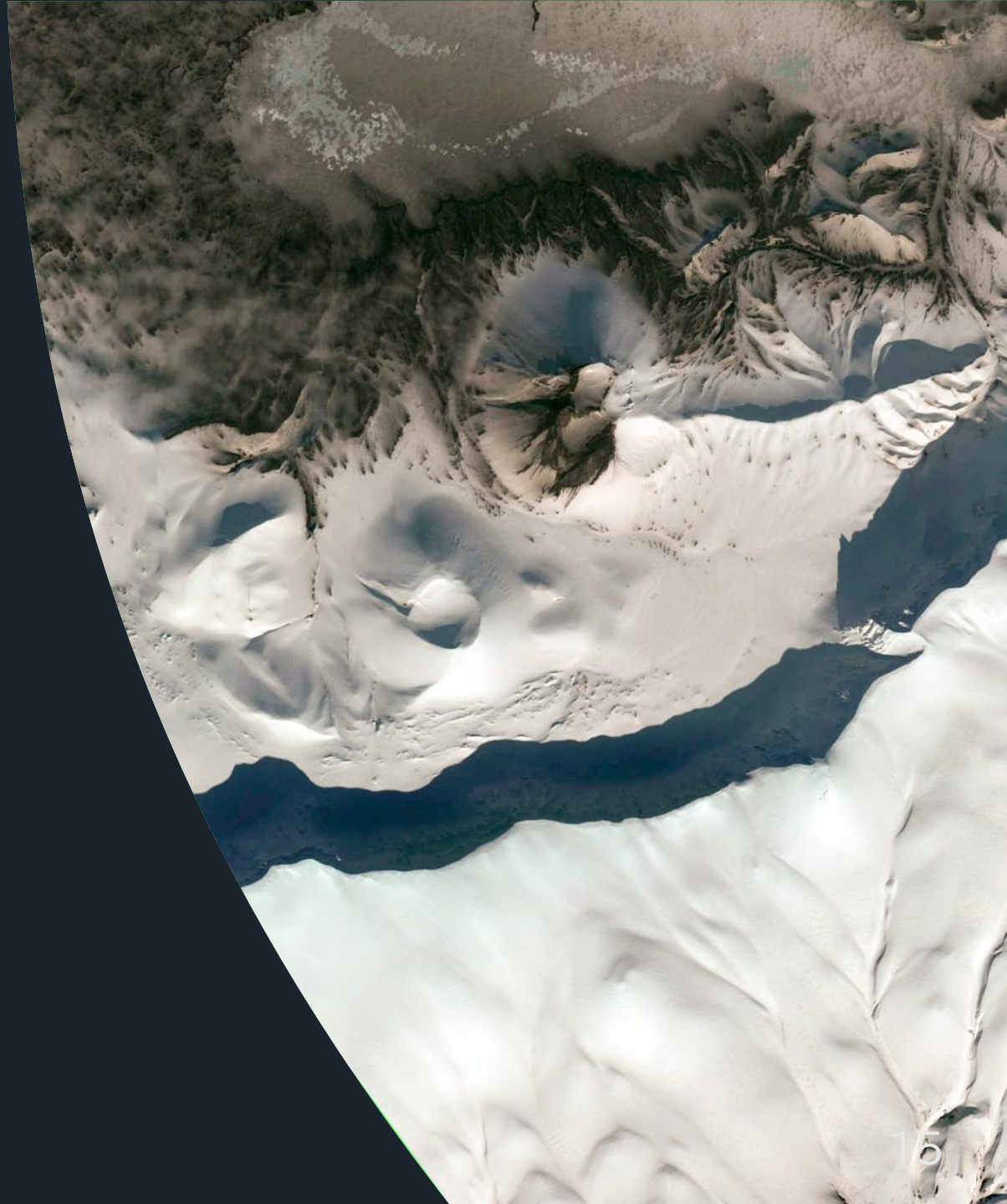


何を？

- 提出されたデータは、要請元のデータセットとして利用可能
- 要請者が誰かによって、追加の質問が含まれる場合あり



CDPを通じて 開示する理由



なぜCDPを通じて開示するのか



強靱かつ持続可能なビジネスモデルの構築

情報開示は、リスクを可視化し、機会を特定することで、地球を守りながら持続的な事業成長を支え、企業の収益を守るのに役立ちます。



一度の開示で、多様な用途に活用

当社の「一度作成、多用途活用」というアプローチにより、組織は単一の開示情報を、あらゆるレベルでの意思決定を後押しする強力な市場インテリジェンスへと転換できます。CDPを通じた開示は競争優位性をもたらし、ユーザーは資金調達、リスク低減、効率化を実現できます。



連携と洞察によるインパクトの創出

CDPIは、開示されたデータがより広く、より迅速に活用されるよう、強力なパートナーシップを構築してきました。私たちは、世界的に重要な枠組みや基準との整合性を進め、組織が今後の規制や変化する市場の需要に備えられるよう支援しています。



不確実な世界における安定したパートナーシップ

25年にわたり、CDPIは絶えず変化する市場において信頼されるパートナーであり続けてきました。2026年、CDPIは開示の簡素化に注力します。構造の洗練、ガイダンスの明確化、そしてデジタル機能の拡充により、報告にかかる労力を軽減します。

環境パフォーマンスの向上

6%

過去10年間、CDP Aリストに選出された企業は、株価上昇率において市場ベンチマークを6%上回りました。

25%

サステナブルな製品は、そのような特徴を持たない製品と比較して、売上高を最大25%増加させることができます。

42%

企業は、信頼性の高い気候変動対策計画の達成に向けて、設備投資の最大42%を充てています。



機会を活かし、レジリエンスを高める

10.7兆
ドル

開示企業によって特定された気候・自然関連の
機会

540億
ドル

サプライチェーン全体で大幅な排出削減を行った企業による
コスト削減額

最大21
ドル

適応とレジリエンスへの投資1ドルあたりに報告された予想投資収益率



アースポジティブなインパクト

7~10
%

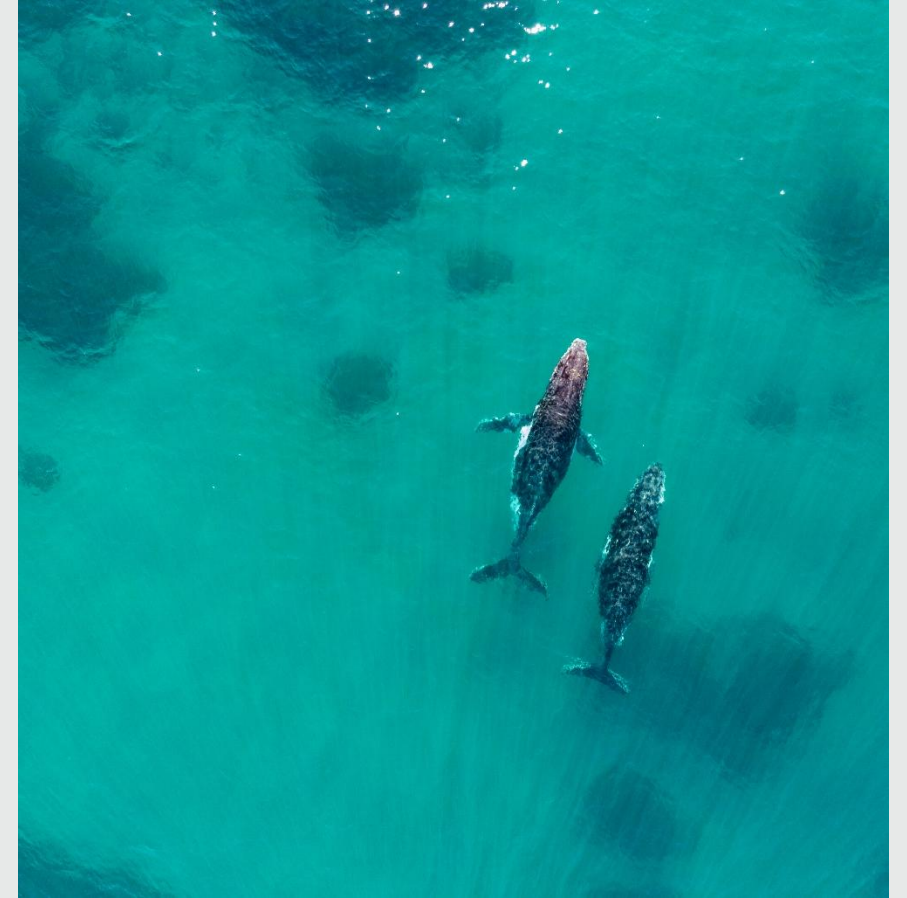
初回開示から2年以内に削減された
直接排出量

700億
立方メートル

2015年以降、継続的に開示を
行っているわずか120社によって
節約された水の量

540億
米ドル

サプライチェーンの排出量削減に
よる節約額



1回の回答を何度も利用 “write once, read many”

開示データの
ユースケース

データおよび分析プロバイダー、
基準策定機関

サステナビリティデータの
エンドユーザー

サステナビリティデータの
エンドユーザー



22,100社以上(世界の
の時価総額の64%を
占める)

CDPは、組織が市場や規制の
要件に基づいて情報開示を行
うことを可能にすると同時に、

世界の資本市場や調達チーム
の意思決定に役立つ最も信頼
性の高い環境データを利用可
できるようにします。

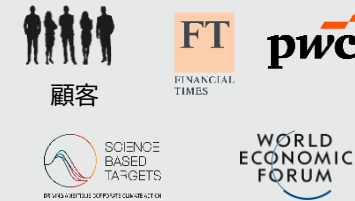
資金調達への
アクセス



- 特定の投資・融資商品への
アクセス
- 優遇金利へのアクセス

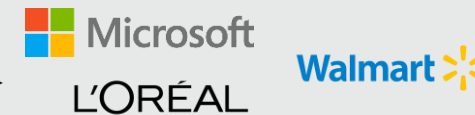
事業継続性

競争上の
優位性



- コスト削減、ビジネスチ
ャンス、企業価値の整合
- 世間の評価、市場におけ
る評判

顧客維持



- 調達要件、調達入札の落札

コンプライアンス
／規制への対応



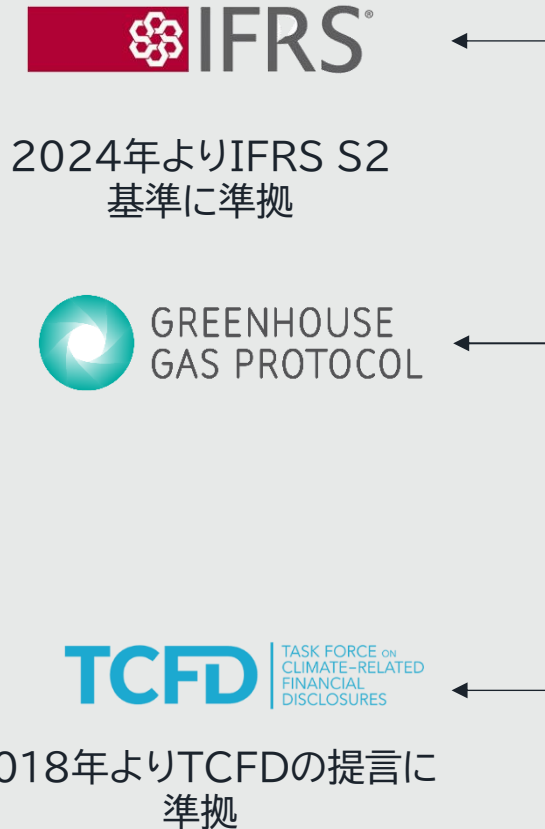
- 規制・コンプライアンス要件
への対応
- 公的・民間セクターの関係者
からの訴訟リスクの管理



世界中の基準に準拠した開示を可能にする

CDPは、基準を組織が活用できる具体的な形に変換します。回答し、実行すべき質問やデータポイントを提供し、この質の高いデータを単一のデータセットとしてステークホルダーや市場に還元します。

整合済み



整合性の拡大



CDPと連携し、ISSBに準拠



世界のGDPの半分以上を占める国や地域では、ISSBに準拠した開示を義務化する準備が進められています。



CDPはISSBの主要なグローバル気候変動開示パートナーであり、ISSBの気候変動基準はCDPの気候変動開示における基礎となる基準となっています。



CDPを通じた開示は、準備を進めるための最良の方法です。開示データセットと併せて、この質問書は、企業がIFRS S2への準拠を目指す上で効果的な支援ツールとなります。



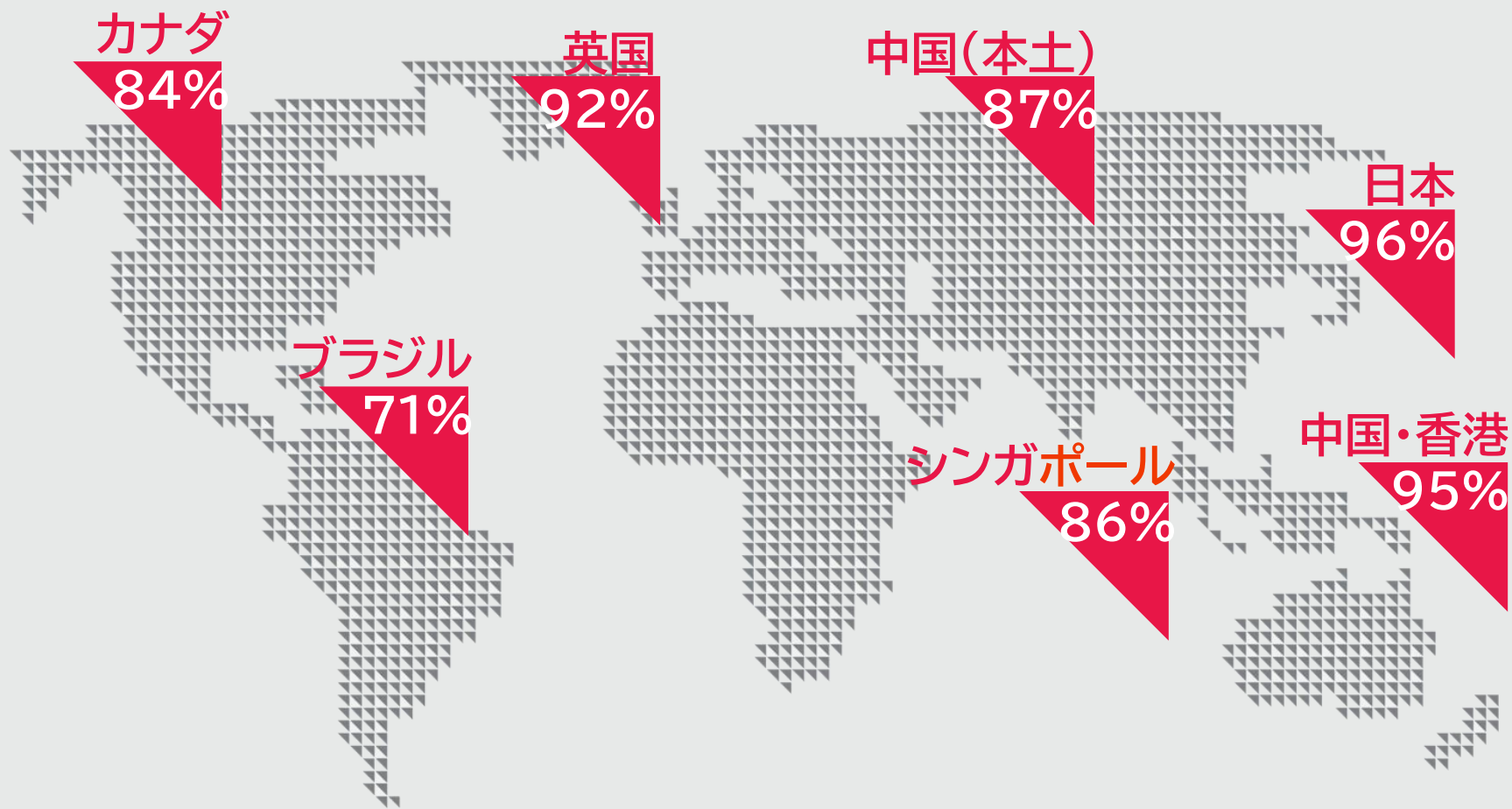
2026年6月から10月にかけてCDPを通じて開示を行うことで、企業はステークホルダー、ひいてはより広範なグローバル市場に対し、IFRS S2に準拠した気候データを含むデータを直接開示することになります。



IFRS S2開示に向けた企業の取組を支援

企業の87%

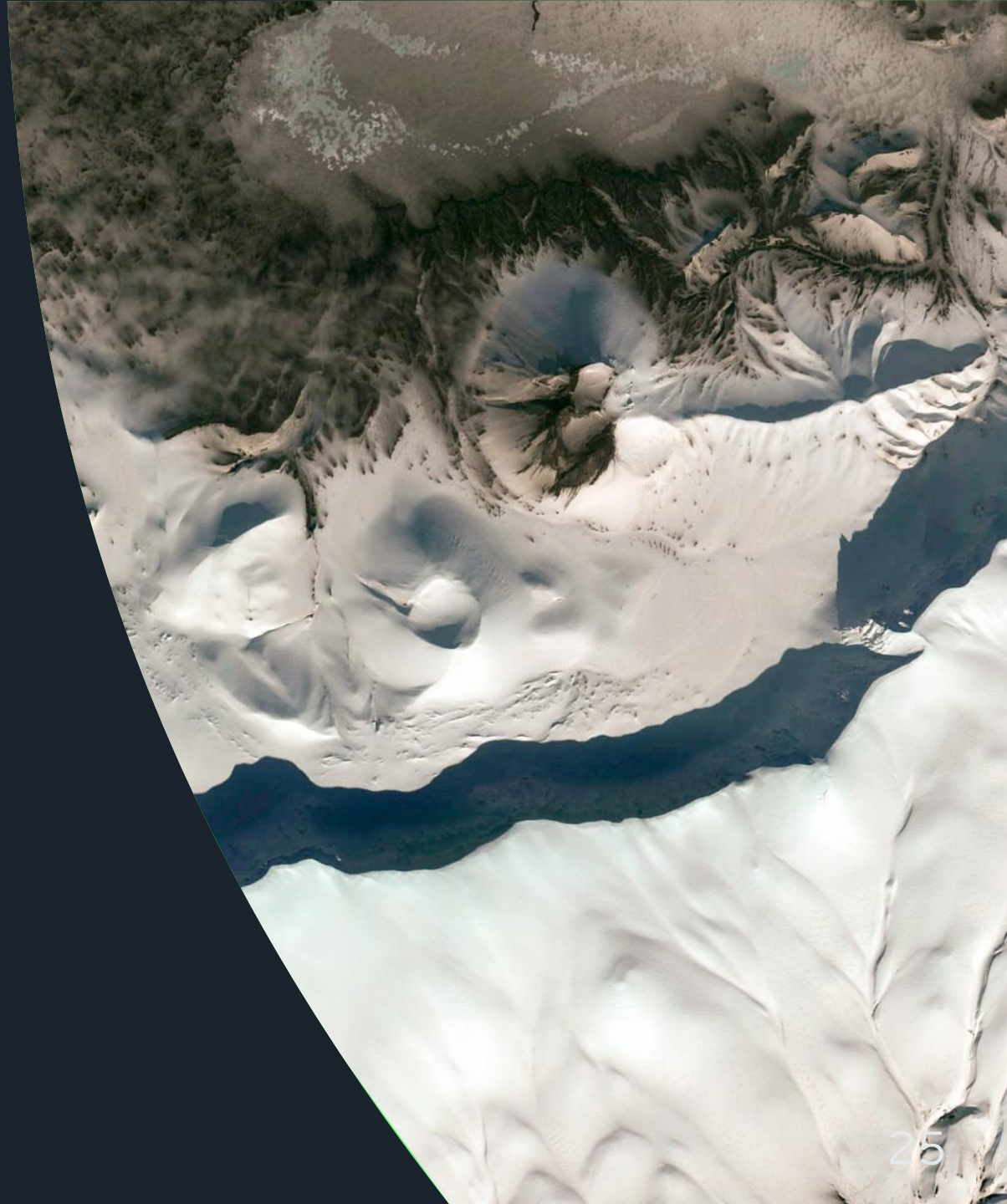
が、IFRS S2に準拠した質問の少なくとも80%について開示を行いました(2024年の83%から増加)



CDP質問書において、IFRS S2に準拠した質問の80%以上について開示を行っている企業



データの活用 事例



CDPがデータ市場を牽引

CDPは、データ市場、インデックスおよび格付け、投資調査、金融商品を支える、世界で最も包括的な一次環境データセットです。

投資家や銀行は、直接的・間接的にCDPのデータを活用しています。



金融市場における情報開示の活用



ユーロネクストは、CDPスコアを活用して、科学に基づく目標を追跡する指数を作成している。銀行はこれらの指数を利用して、新たな金融商品を開発している。



2025年、キャセイ・ユナイテッド銀行は、CDPの開示インサイトを活用して、新たなランジション・ファイナンス・プラットフォーム「Cathay One」を立ち上げた。



Walmart



サプライヤーはCDPのデータを活用して「プロジェクト・ギガトン」に報告を行い、より有利な融資条件や早期支払いの恩恵を受けている。



1億5,000万ユーロの生物多様性ファンドは、CDPのデータを活用し、生物多様性の損失を削減する企業への投資を行っている。



資本市場におけるCDPデータの活用

報告

CDPの開示は、ネットゼロ、移行計画、およびスコープ3報告に関する金融機関向けの主要な枠組みや基準と整合しています。



目標

ポートフォリオのベンチマーク、科学に基づく目標の設定、および「ネット・ゼロ投資フレームワーク」の活用。

CDPの「ネット・ゼロ・アラインメント・データセット」を活用し、目標と移行準備状況を評価する。



資金調達

気候・自然データを統合し、リスク調整後リターンを向上させます。

投資および融資手段においてCDPのデータとスコアを活用し、サプライチェーン・ファイナンス、SLL、インデックス、ファンドを通じて野心的な目標を推進します。

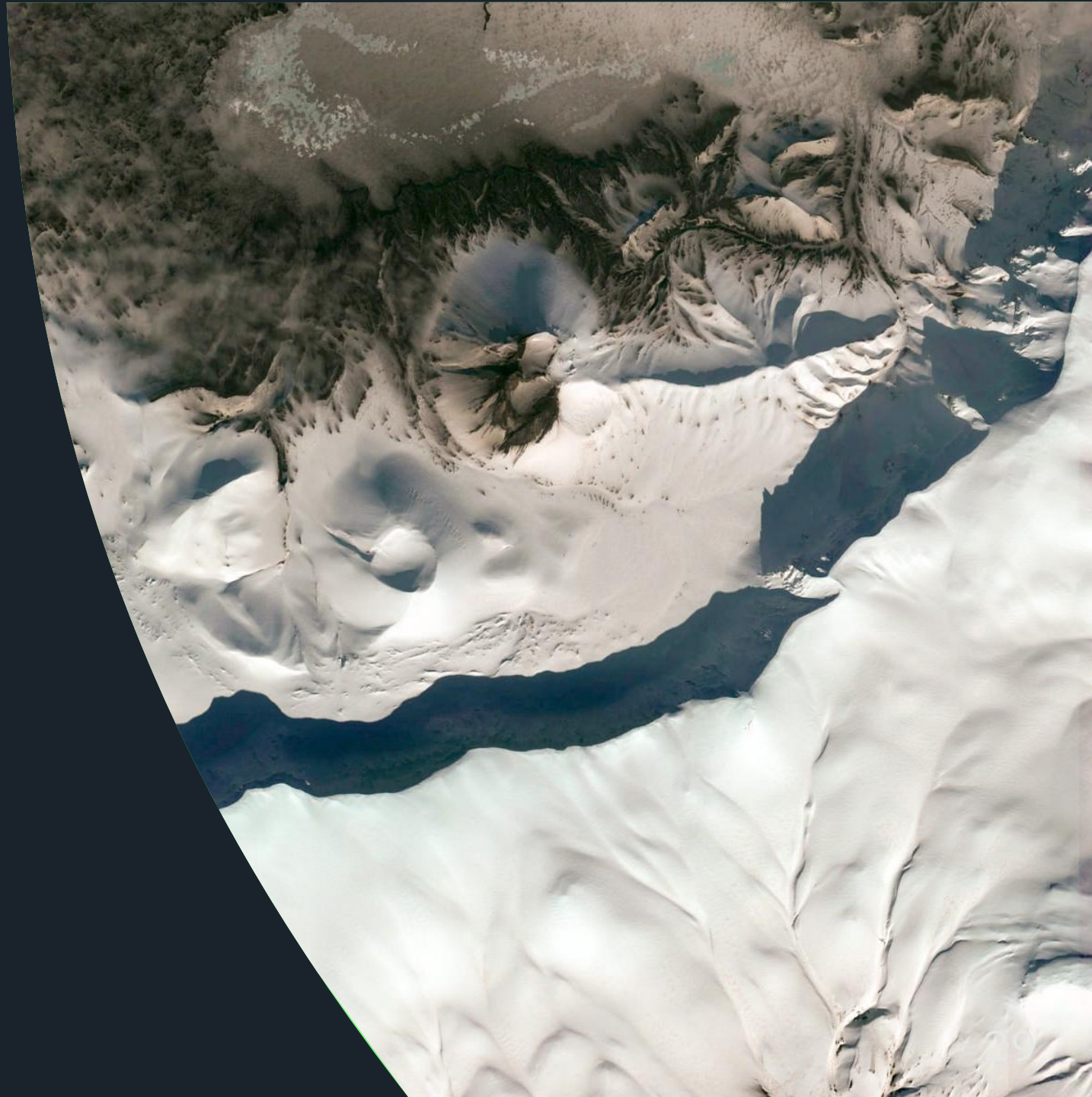


エンゲージメント

世界有数の機関投資家数百社と共に、サステナビリティ目標についてポートフォリオ企業と直接対話を行い、透明性と行動を促進しています。



2026年 開示サイクル



2026年開示スケジュール

準備

開示

結果・分析への
アクセス

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

4月20日の週:
質問書の公開

4月27日の週:
要請者は
リストの提出を開始

6月15日の週:
開示者向けの回答
受付期間開始

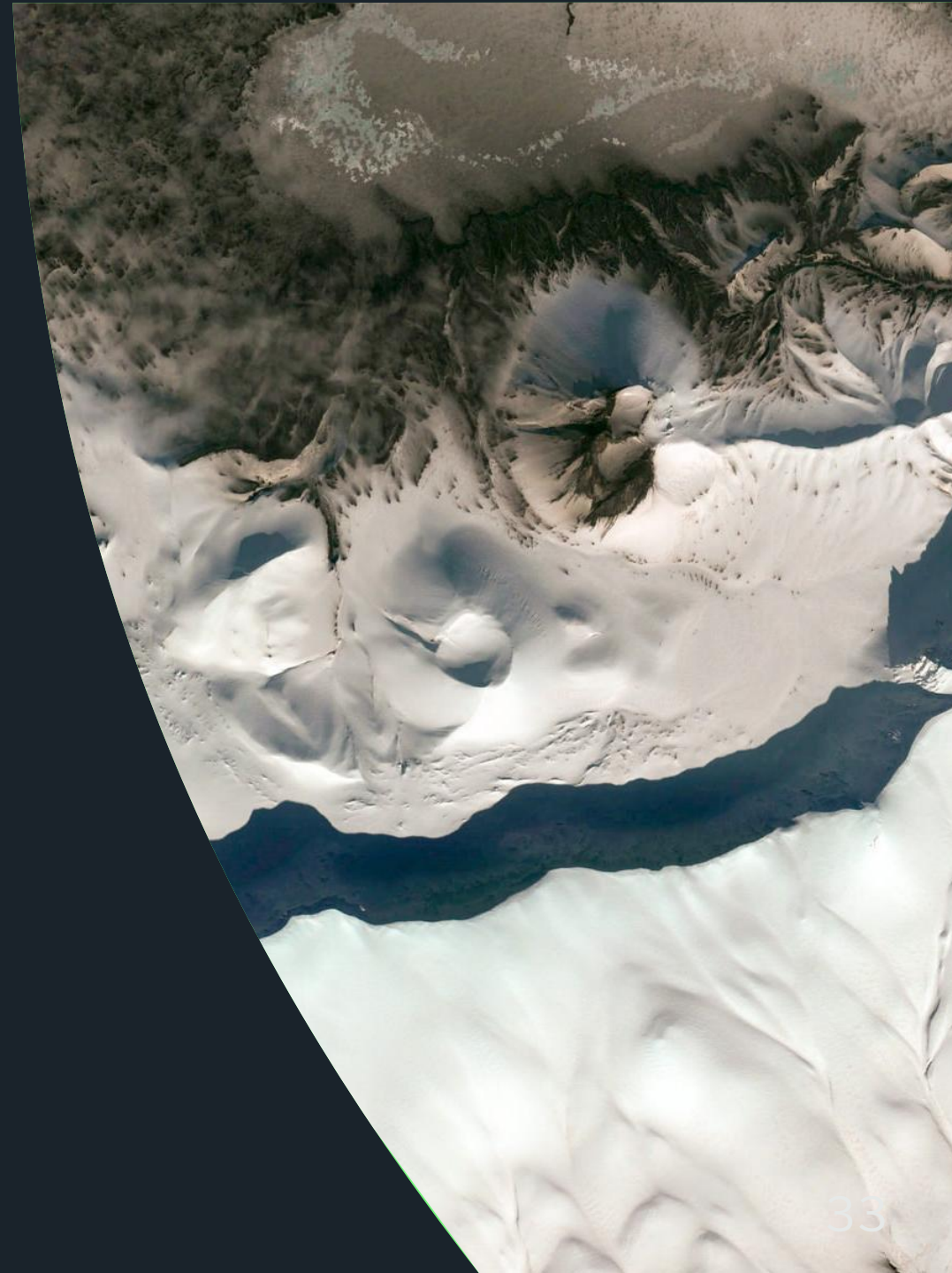
9月14日の週:
スコアリング対象
回答の提出期限

11月30日の週:
2026年スコアの
CDPポータル上での
公開

10月26日の週:
スコアリング対象外の
回答の提出期限



參考資料



オンラインリソース

- [2026年CDPコーポレート向け完全版質問書概要\(英語\)](#)
- [2026年 CDP 完全版コーポレート・スコアリングの概要\(英語\)](#)
- [2026年 CDP 中小企業\(SME\)向け質問書概要\(英語\)](#)
- [2026年 CDP 中小企業\(SME\) 向けスコアリングの概要\(英語\)](#)
- [CDP2026年質問書・ガイダンス・スコアリング基準\(英語／日本語\)](#)
- [CDPの活動分類システム\(ACS\)2026\(英語\)](#)
- [CDP用語集\(英語\)](#)
- [よくある質問\(FAQ\) - CDP\(英語／日本語\)](#)
- [ポータルへのアクセス\(英語／日本語\)](#)
- [情報開示の方法\(英語／日本語\)](#)



CDP 2026開示サイクル CDPについて データの開示 データの使用 最新情報 お問い合わせ Q JA サイン

情報開示の方法

2026年のCDPを通じた情報開示のためのステップごとの解説をご覧ください。企業、中小企業（SME）、自治体向けのガイダンスやスコアリング関連資料もご紹介しています。

情報開示の方法：
ステップごとの解説

日本 | 2026年CDP情報開示ウェビナー日程

| 日時(日本時間) | ウェビナー名 | 対象者 |
|----------------------|--|---------------------------------------|
| 6月3日 14:00-15:30 | CDP情報開示ウェビナー (初回答企業向け) | キャピタルマーケットツ要請を受けた非開示企業および初回答企業 |
| 6月24日 14:00-15:00 | CDP情報開示ウェビナー (既存開示企業向け) | コーポレート完全版質問書を提出予定の既存開示企業 |
| 7月1日 14:00-15:30 | ネイチャー分野の情報開示 | 自然関連の開示を予定している企業、または自然関連開示への理解を深めたい企業 |
| 9月2日 14:00-15:00 | 質問書回答提出前の留意点 | 質問書の提出を予定している全企業 |
| SMEシリーズ | SMEシリーズ:気候変動 / SMEシリーズ: SMEs向け統合報告(水セキュリティと フォレスト) | 録画配信あり、ライブウェビナーはなし |



[ウェブページを見る / 申し込む](#)

認定ソリューション プロバイダーとディス クロージャー API

CDP開示についてサポートが必要であれば、認定ソリューションプロバイダーの専門家にぜひご相談ください

CDPは、認定ソリューションプロバイダー(ASP)のグローバルネットワークを構築しており、組織による**幅広い環境課題への対応**を支援できます。

この一環として、一部のASPはソフトウェアソリューションを提供しており、CDPと提携して**Disclosure API**を利用しています。これにより報告負荷が軽減され、組織はCDP回答の作成にかかる時間を節約できます。これらのASPはすでにAPIによる開示支援を提供するために登録しており、今後も利用可能になり次第、リストに追加されます。API開示パートナーを回答に追加する方法については、[こちら](#)をご確認ください。



気候・エネルギー戦略

- 移行計画とシナリオ分析
- バリューチェーンエンゲージメント戦略と導入支援
- 再生可能エネルギー戦略 および／または調達
- カーボンプライシング戦略

森林減少・ 土地利用

- 森林減少関連コモディティのリスク評価
- トレーサビリティとモニタリング
- 生態系の保全と再生
- 自然に根ざした解決策 (NBS)
- レジリエンスと適応

カーボンフットプリントと データ収集

- データ収集およびソフトウェアサービス
- ライフサイクルアセスメント
- GHGインベントリの第三者検証および保証

水戦略、 リスクと会計

- 水関連目標の設定と現場での実装
- 水ストレス地域の評価
- 水リスク評価(例:有害物質)

CDP ヘルプセンター

- <https://help.cdp.net/>
- ナレッジベース:ほとんどの質問については、ナレッジ記事ですでに回答されています。
- サインイン後、CDPにお問い合わせ(ケース)を送信することができ、そのケースはお客様のアカウントに紐付けられます。
- 対応言語:英語、ポルトガル語、日本語、簡体字中国語、スペイン語

CDP

ナレッジベース

日本語

サインイン

CDPヘルプセンター

検索バーにキーワードを入力し、ナレッジ記事から必要な情報を検索できます

すべて 検索キーワードを入力

回答要請機関向け記事

情報開示組織向け記事

ご質問をどうぞ

お急ぎの方はこちら:

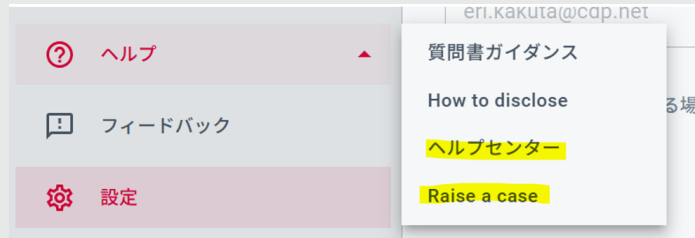
1. CDPへ初めて回答される方: - [情報開示のご登録](#)
2. ヘルプセンターを初めて利用される方: - [ヘルプセンターアカウントのご登録](#) 登録(Register)より新規アカウントを作成し、お問い合わせください
3. お困りの場合: - ケースを作成し、お問い合わせください
 - ヘルプセンターにサインイン後 マイサポートよりお問合せください
 - [CDPヘルプセンターでケースを作成する方法](#)



お問い合わせの提出方法

方法 1: CDP ポータル経由

1. サインイン:
<https://myportal.cdp.net/>
2. 「ヘルプ」をクリック
3. 「Raise a case」をクリック



方法 2: CDP ヘルプセンター経由

1. サインイン:
<https://help.cdp.net/signin>
2. 「サポートにお問い合わせる」をクリック



お問い合わせ提出フォーム

CDP

ホーム > マイサポート > サポートにお問い合わせる

サポートチームへのお問い合わせ

ユーザータイプ
情報開示組織

サポート案件のタイトル*

カテゴリ*
カテゴリ

サブカテゴリ*

説明*
ご照会内容をご記入ください。ご照会内容をご記入ください。

ファイルを追加する
ファイルの選択 | ファイルが選択されていません

送信 キャンセル



ヘルプセンターへのお問い合わせ方法- CDPヘルプセンター

有難う
ございました

CDP

質疑応答



事前質問(1)



Q1. 昨年から回答を開始しましたが、担当者変更により回答作業自体は初めてとなります。画面の操作や順序を教えてください。

昨年、既に回答を開始している場合には、CDPポータルに企業の登録があるため、新規担当者の登録から開始します。前任者がポータルにログインし、新規担当者をポータル上で加えることもできます(操作方法は[こちら](#)を参照)。それができない場合には、登録希望であることを、[ヘルプセンター](#)までご連絡頂ければCDP側で登録いたします。登録後は、今月中旬に、CDPよりポータルオープンなどのお知らせが届くようになりますので、そちらの案内をお待ちください。その他、関連画面の操作等は[ナレッジベース](#)の記事をご参照ください。

Q2. 2026年は他社回答の閲覧ができますか。

既にポータルにアクセス可能な企業は、一つのポータル(企業)につき、20社までの他社回答(2025年質問書への回答)の閲覧が可能となっています(本スライドの補足資料「他社回答の閲覧方法」をご参照ください)。これに関して案内するメールの送付を予定しております。

事前質問(2)



Q3. 質問設定で、気候変動以外の環境課題(水セキュリティ、フォレスト等)の開示を拒否した場合、質問書内で、例えば、ガバナンスモジュール内では、他の環境課題に関する質問は表示されなくなるのでしょうか。

はい、質問書設定の際に、「開示する」を選択しなかった環境課題は、質問書内で表示されなくなります。但し、その環境課題もキャピタルマーケット要請の対象となっている場合、「開示しない」を選択した環境課題のスコアに影響するため、この点、ご留意の上、質問書設定を行ってください。

Q4. 昨年からの質問書の変更点を教えてください。

2026年質問書の主な変更点は、本スライドの補足資料「2026年質問書の主な変更点」の通りとなっております。詳しくは、第2回以降の、情報開示ウェビナーにてご説明する予定です。

Q5. フォレストのスコアリング基準の変更点を教えてください。

フォレストのスコアリング基準の変更点に関しては、第3回情報開示ウェビナーにてご説明する予定です。

補足資料



他社回答の閲覧方法

[回答要請を確認](#) >

 **費用が選択されてい** [事務費用のオプション](#)
ません [を見る](#) >

データ・プロダクトとレポート



CDPI旧プラットフォーム
にあるすべてのデータ・
プロダクトと情報開示 >
データを表示します。

2025年の質問書への回答

組織が公開した回答を表示/ダウンロードする国/
地域と事業活動に基づいて回答を選び、条件が類
似した組織の回答を見ることができます。

[回答を表示](#) >

2025年の質問書への回答

10,000を超える2025年の質問書への「公開」回答のリストを閲覧し、表示したい回答を追加してください。

[回答を閲覧](#)

 **あと20個の回答を表示できます**

貴社のメンバーシップで利用できる20個中0個の回答に既にアクセスしています。

選択済みの回答が表示されます。



2026年質問書の主要な変更点

森林および
その他の自然生態系



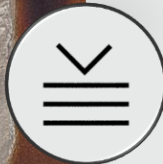
- カカオ、コーヒー、ゴムが、2026年よりスコアリング対象コモディティに追加
- 「森林減少なし」および「自然生態系転換なし」目標の一部修正

海洋



- 環境課題を海洋分野まで拡大。すべての組織が開示可能であり、優先度の高いセクターの組織には報告が強く推奨される

適応とレジリエンス



- リスク・機会の評価、ガバナンス、戦略、財務計画、およびステークホルダー・エンゲージメントにおいて、適応とレジリエンスにどのように取り組んでいるかに関する質問を追加

プラスチック

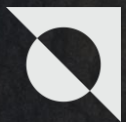


- プラスチックに関する情報開示を任意で選択可能
- エレン・マッカーサー財団のグローバル・コミットメントへの整合を強化

SME



- 対象をフォレストおよび水セキュリティに拡大
- SME Aスコアの導入

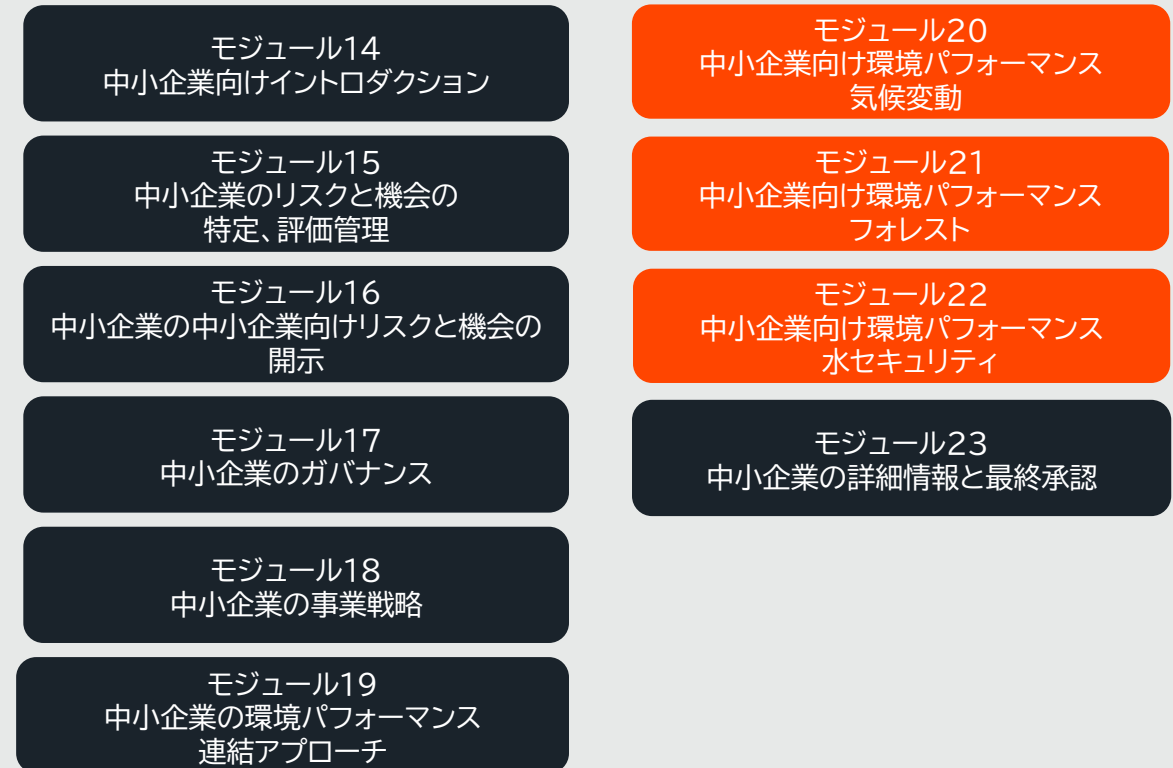


コーポレート質問書：完全版およびSME版

完全版質問書(全項目)*



SME版質問書*



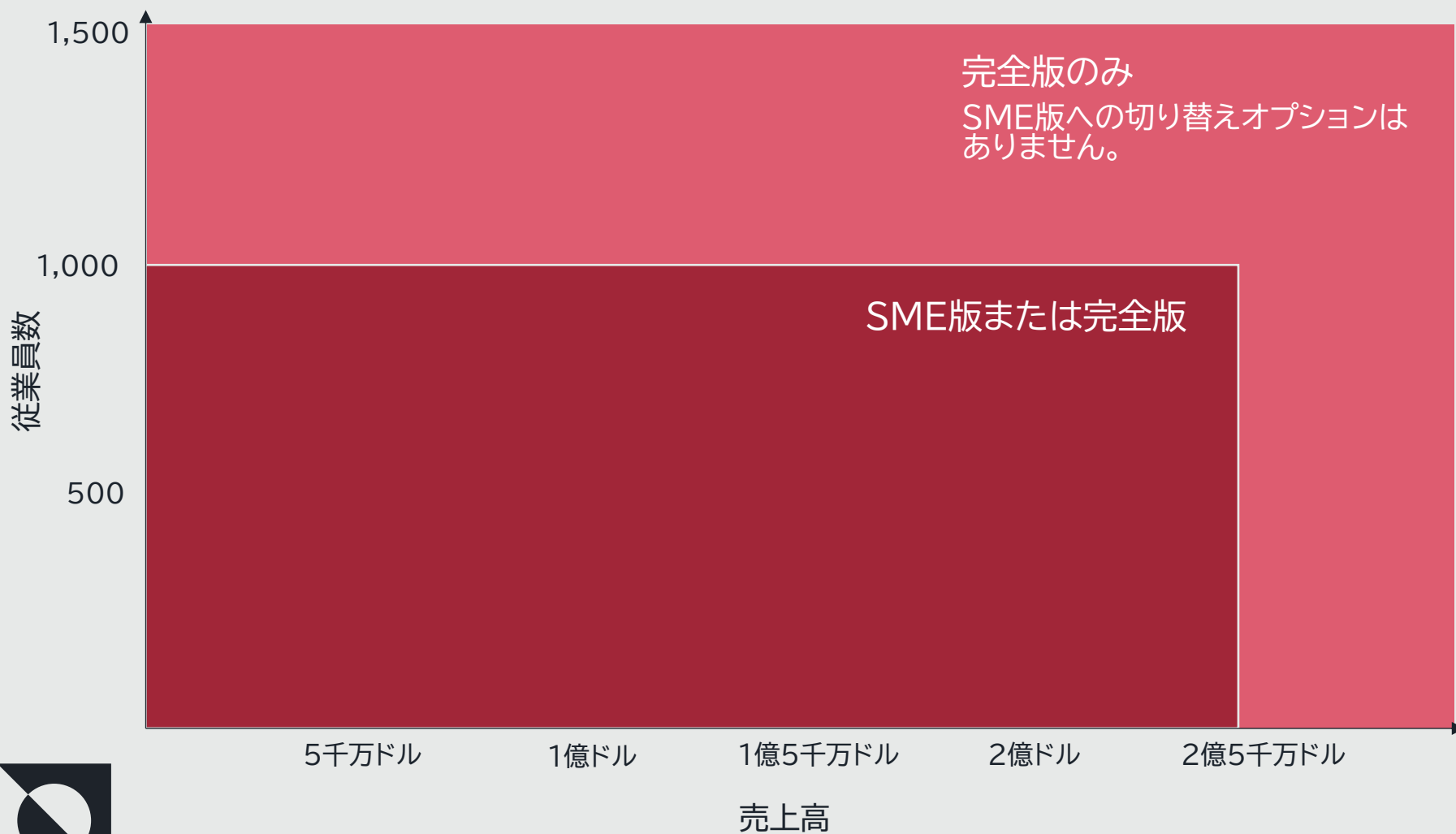
■ 統合モジュール

■ 特定の環境課題に特化したモジュール



*質問書の構成が若干変更される可能性があります

企業規模に合わせた2つの質問書(完全版・SME版)



質問書の対象条件:

- SME版または完全版:
正規従業員数 < 1,000名 かつ
売上高 < 2億5,000万米ドル
- 完全版(SME版への切り替え
オプションなし):
正規従業員数 > 1,000名 または
売上高 > 2億5,000万米ドル

注:RE100から要請を受け
た企業は、SME向け質問書
の対象外となります。



よくある質問(FAQ) 回答事務費用

よくある質問(FAQ) - CDP

回答事務費用

なお、管理手数料を支払うのは企業のみです。

CDP回答事務費用とは何ですか。

+

2026年開示サイクルには、回答事務費用はどのように変わり、その理由は何ですか。

+

3種類の回答事務費用の違いはなんですか。

-

CDP回答事務費用には3つのオプションがあります。エンハンスレベルでは最も多くのベネフィットを提供しています。

CDP回答事務費用の金額はいくらですか。

-

上記の変更を含む2026年の全ての回答事務費用については、下記の表をご確認ください。

| 企業の本社所在地 | エンハンス ト | ファンデーショ ン | エッセンシャ ル |
|-----------|------------|--------------|-------------|
| 英国 | £5,985 | £2,450 | n/a |
| 欧州（トルコ含む） | €7,200 | €2,975 | n/a |
| 日本 | ¥ 775,000 | ¥ 325,000 | n/a |
| 中国 | CN¥54,000 | CN¥21,500 | CN¥8,675 |

